

いつでも全力 香月学級



(左から) 末満タエ子さん、塩盛玲子さん



(左から) 大峯フヂ子さん、山口千恵子さん、豊留靖子さん

◆ **参加者の声**

● 塩盛 玲子さん
● 末満 タエ子さん

「香月学級は、学びも遊びも本気で。今日もいい話を聞くことができ、

9月10日、香月地区公民館では、学校教育や今後の児童減少に関する出前講座が開催され、現在の教育や身近な人口減少について学びを深めていました。学習の後は、モルック、バッグ、ラダーゲッターと、3種のニュースポーツを楽しんでいました。この日の参加者は24人。学級終了後に、参加者にお話を伺いました。

学ぶある時間でした。その後のニュースポーツも、童心に返って精一杯遊びました。今日は参加者がいつもより少なかったですが、普段は40人近い参加者で大盛り上がりです。家においても、仲間はテレビやりモコンだけです、ここに来ると多くの仲間と交流できます。いつも来る人が来ないと、心配になるくらい参加者同士のコミュニケーションは活発です。公民館主事の方々のサポートもあり、毎回楽しく参加できています。」

参加者同士、情報交換の貴重な機会ととらえ、各所で会話が弾んでいる様子が見受けられました。

令和7年、8年始動 新橋学級・泰野学級



学級のリニューアルにより、新橋学級は令和7年から、泰野学級は令和8年よりスタートしています。9月3日の泰野学級では、消費生活に関する出前講座後にポツチャを楽しみました。

始動1年目の泰野学級生は7人です。この日参加した、山口千恵子さん、大峯フヂ子さん、豊留靖子さんは、「地域の方ばかりで、安心して参加できる場所。来年は倍の14人くらいになると嬉しいです。」と、早くも来年も引き続き参加したいとの意欲を見せていました。

9月14日には、新橋学級にも取材に伺いました。学級始動2年目ということで、昨年に引き続いて参加している方々に今年も継続して参加した理由を伺ったところ、「防災やデジタルなど自分ではなかなか身につけられない知識や新たな気付きがあり、充実しています。参加してみても、志布志市に暮らして良かったと感じています。」と活動内容を評価する声が多く聞かれました。周囲の方々にも、参加を勧めているという方も多く、松山地域も今後まだまだ新規参加者が増えるのでは、と期待せずにはられない取材機会となりました。



ありのままの自分でいられる 伊崎田学級



9月2日、この日伊崎田地区公民館では、地域の空き家について考える出前講座が開催されていました。学級生からは、所有家の今後に関する不安や解体補助に関する質問が相次ぎ、関心の高さがうかがえました。

この日は20人近くが参加し、出前講座のあとは健康体操を実践し、楽しく汗を流していました。

◆ 参加者の声

● 有村 勉さん(学級長)

「開校当初から参加しているが、この学級の雰囲気が好きです。毎回、開催

内容が良いので、参加したい気持ちになります。コロナ禍以降、人が集まって交流したり、情報交換する機会が減ったままなので、学びや交流ができる貴重な機会です。」



有村 勉さん

● 坂中 秀子さん

「地域の皆さんが隣近所同士のような感覚で集います。顔なじみの人もどんどん増えており、私にとってはここなら甘えられると思える場所です。毎回楽しみで、これからも大切にしたいです。」



坂中 秀子さん